

# 生活者ネットワーク 政治不信を招いた市長選挙 市長は信頼の回復に務めよ

後藤 ゆう子  
かとう 涼子

その子に寄り添う支援を考  
えていきたい。



市長選挙とヘイトビラ

市長選挙でばらまかれたビラによって、市民との信頼関係は大きく傷ついた。どう修復していくのか。謝罪は行うのか。

今後どのような対応ができるかを考える。

市長が望まぬビラをまくような確認団体と、今後も近い関係が続いていくのか。

確認団体の候補者として同意した以上、法定ビラにより不快な思いをされた市民に心よりおわびする。

市長の答弁はまるで壊れたテープレコーダーだ。自分の望むやり方で選挙を戦えなかった上に、ビラを発行した確認団体の代わりに謝罪ばかりしている。本当にそれでいいのか。今の状態で不利益を被るのは市民だ。この件にまずはきちんと決着をつけるべきだ。

地球温暖化対策とSDGs 次世代を担う子どもたちのために、ゼロカーボンシティ宣言と気候非常事態

宣言に取り組むべきだ。ゼロカーボンシティ宣言を前向きに進めたい。宣言するだけでは中身がない。市のCO2削減目標値と排出量の実態には34・3%の乖離がある。目標達成に向けた効果的な施策を投入すべきだ。

市長の選挙公約 プレミアム応援券は選挙後のバラマキ事業だ。コロナ対策として子どもや若者支援、PCR拡充等を考えなかったのはなぜか。

市内経済の持続・回復に向けた支援が最優先課題の1つと捉えたからだ。

学校を核とした地域づくりと不登校支援 所信表明で示された学校を核としたコミュニティづくりには賛同するが、そのことで不登校の子が地域から遠ざかることはあってはならない。

不登校はどの子にも起こり得る。日頃から地域がつながりを保ち、学校がキーステーションとなつて、

形骸化する市民参加 参加者が減少、固定化するのには手応えが実感できないからだ。満足度の低い手法を根本から改めよ。

市民参加手続を複数回実施するなど柔軟な対応も考えたい。

庁舎基金の早急な見直しを コロナによって財政の潮目は大きく変わった。これまで積み立ててきた庁舎整備基金を早急に見直し、行財政基盤の強化に充てるべきだ。

改めて私の考えを整理した上でお示ししたい。

## 議会 NEWS ②

### 議員研修会

議員の資質向上を図るため、毎年各方面から講師を招いて議員研修会を実施しています。

令和2年度は、政治倫理に関する研修を実施し、議員政治倫理条例を制定した議会の背景や過去に起きた違反行為などの事例等について、ご講演いただきました。

今回は緊急事態宣言中であり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、17名はオンラインによる参加で開催しました。

- 日程 1月22日(金)
- 場所 田無庁舎議会棟4階
- 題目 議員が守るべき政治倫理とは
- 講師 株式会社地方議会総合研究所 代表取締役 廣瀬 和彦氏



### 一般質問

誹謗中傷の選挙戦  
これってありですか

小峰 和美(無所属①)

西東京市長選挙は、他陣営の候補者を中傷するビラが配布されるなど、まるでアメリカ大統領選挙のよう。確認団体が配布したビラに、傷ついた市民は決して少なくない。厳しい意見や指摘を真摯に受け止め、市民の融和を真剣に考えよ。

市政運営を評価していただけるように全力で当たる。

コロナ対策について 意見 コロナで、卒業式も修学旅行も体育祭も延期、縮小、中止。「仕方がない」と涙した子は多い。トルコのことわざに「どんなに絶望的でひどい状況でも、息ができるなら、まだ大丈夫だ。」我々は、マスク越しで息はできている。私は言う、希望だけは捨てるな。

この春、学び舎を巣立つ児童生徒らは、この1年間コロナ禍で過ごしてきた子どもたちの門出を祝ってあげたいと、東京音楽大の教員らが卒業ソングを配信する。そんな中、岩手県の小学校教師が寄せた応援メッセージが心にしみみた。「知らない人から何かしてもらった子どもたちは、やがてきつと知らない誰かに対しても、何かしてあげる大人に育つはずです。」私は、巣立つ子どもたちに思いやりと応援は忘れない。

市長は自分の選挙事務所に行ったことはあるか。

足を運んだ。

選挙事務所は浜中のりかた議員の住所で、確認団体の所在地でいいか。

間違った。

代表は西東京市医師会会長の指田純氏と聞く。

その通りだ。

私はヘイトビラと呼んでいるが、法定2号ビラに於いて指田代表、池澤市長の2人の名前が出ています。市長の責任が曖昧になっていくから、指田代表が矢面に立つことになる。それ以外の名前が出てこない。一度名前を出た方は否定された。みんな指田代表の陰に

### 一般質問

池澤市長確認団体発行のビラは  
事実を歪めたものだ!

納田 さおり(無所属③)

池澤市長確認団体の法定2号ビラ問題

現在、歳入歳出収支が取れていない西東京市は財政危機なのか。

財政危機ではない。

同じ状況の逗子市も財政危機ではないということになる。池澤市長の確認団体が発行した法定ビラ2号裏面の逗子市の財政危機を強調する新聞記事の抜粋は、公選法第235条第2項に抵触する。対立候補の前逗子市長を「当選させない目的をもって事実を歪めて公にした内容」ではないのか。

ビラについては新聞記事の抜粋という認識である。新型コロナワクチン

新市長の政治姿勢を問う。自分を支援してくれる人だけでなく、厳しい意見を持つ市民ともしっかりと対話する覚悟があるか。

多くの地域の方々とい、顔つなぎができる関係構築に努めてまいります。

時間ある限り市民と積極的に意見交流せよ。

市長選挙期間中の法定ビラについて、慌ただしかったから十分にチェックしなかったという市長の決断力は正しかったと思うか。

その点は反省している。

確認団体に対し、今後は絶対にしないようにと呼びかけるべきでは。

臨時会、定例会での議

### 一般質問

厳しい意見の市民とも対話せよ!  
支援策は当事者の声をよく聞いて

田村 ひろゆき(無所属④)

員からの指摘、市民からの意見を含めて、確認団体と話し合いの場をつくりたい。

エッセンシャルワーカースとしてプレミアム応援券を無料配布するが、なぜこの手法なのか。事業所への補助や検査拡充の手法もある。当事者のニーズは聞いたのか。

要望は伺っていない。チケットが使われることで市内経済の回復に寄与すると考えている。

当事者が求めているかわからない。またエッセンシャルではない業種が大変だったりもする。しっかりと目配りをし、全体を見て施策を打ってほしい。